

令和6年度における滋賀県立高等専門学校の準備状況について

1. ハード関係

①用地整備

【これまでの状況】

- ・ 造成設計 (基本設計) 令和5年7月～令和6年2月
(詳細設計) 令和5年11月～令和7年3月
- ・ 許可等 (開発許可) 申請：令和6年8月22日
許可：令和6年10月30日
(林地開発) 協議：令和6年9月10日
了承：令和6年9月13日
(自然環境保全協定) 調査：令和5年8月～令和6年8月
協議：令和6年9月10日
締結：令和6年11月19日
- ・ 造成工事 (樹木伐採) 令和6年12月～令和7年3月
(盛土造成) 令和7年2月～

【今後の動き】

- ・ 許可等 (開発許可) 変更申請：令和7年3月上旬
変更許可：令和7年3月下旬頃(見込)
- ・ 造成工事 (盛土造成) 令和7年2月～令和8年3月
(歩道整備) 令和7年8月～令和8年2月



【造成工事の状況（令和7年2月3日時点）】

②施設整備

【これまでの状況】

- ・設計事業者の選定
(選定方式) 公募型プロポーザル方式
(公 告) 令和6年7月17日 (最終審査参加者数) 6者
(落札者) (株)東畑建築事務所 (契約額) 511,500,000円(税込)
(契約期間) 令和6年10月～令和8年1月
- ・基本設計 令和6年10月～令和7年3月

【今後の動き】

- ・詳細設計 令和7年4月～令和8年1月 (建築確認: ~令和8年4月)
- ・工 事 (発注) 令和8年2月～ (施工) 令和8年5月～

③その他

ア 隣接国有地

【これまでの状況】

- ・MIZBEステーションの登録 令和6年8月8日
※MIZBEステーション
災害時に緊急復旧活動や水防活動を迅速に行うための拠点となる河川防災ステーションのうち、地域活性化や賑わいの創出が期待されるとして国土交通省の登録を受けたもの
- ・かわまちづくり協議会 令和5年11月～

【今後の動き】

- ・用地整備 令和7年度～令和9年度 国土交通省琵琶湖河川事務所が実施
- ・施設整備 令和9年度 野洲市が実施



【MIZBEステーションのイメージ(R6.8.8国土交通省近畿地方整備局公表資料より)】

イ インフラの整備

【これまでの状況】

- ・上下水道の整備 (設計) 令和6年5月～令和7年1月 野洲市で実施

【今後の動き】

- ・上下水道の整備 (工事) 令和7年6月～令和7年10月 野洲市で実施
- ・ガス管敷設 (工事) 令和7年9月～令和7年11月 大阪ガスで実施
- ・電線敷設 (工事) 令和7年10月～令和7年11月 関西電力で実施

2. ソフト関係

① 学校運営体制の構築

【これまでの状況】

- ・ 校長予定者の選定

令和6年9月17日 北村隆行氏（京都大学名誉教授、元京都大学理事・副学長）を初代校長予定者に内定し、公表
同日、記者会見にて、同氏から開校に向けたコンセプトペーパーを発表

〔開校に向けたコンセプトペーパー〕概要

知行合一の技術者を育む～二刀流が拓く未来社会～

- ① 幸福なエンジニア人生の基礎となる「教育」
- ② 知行の基礎は学生と教職員の合作による「共育」
- ③ 滋賀の総合力を活かす「協育」

令和6年10月1日 北村隆行氏が非常勤の県顧問（県立高専総合ディレクター）・公立大学法人滋賀県立大学県立高専総合ディレクターに就任、県立高専設置準備業務への従事開始

- ・ 開校準備教員の採用

※開校準備教員……県立高専のポリシー作成、カリキュラム編成や学校運営体制づくりなど開校の中心となる教員
令和6年度は他分野の準備教員の探索、小学校での出前授業、広報活動などに従事

令和6年4月1日 機械分野1名が就任

令和6年6月～10月 電気電子、情報技術、建設土木、学生支援分野の開校準備教員を再募集

情報技術分野2名、建設土木分野1名、学生支援分野2名の計5名の準備教員を採用

令和6年11月 電気電子分野の開校準備教員を再々募集

～令和7年1月 電気電子分野1名を採用

※令和7年4月からは開校準備教員7名体制

- ・ 教員の募集

令和6年12月から県立高専の教員の募集を開始

（募集概要）

募集分野	募集人数	募集期間	内定時期
専門科目（機械、電気電子、情報技術、建設土木）	31名程度	R6.12.3～R7.2.28	R7.5
一般教養科目（数学、理科、英語、国語、体育）	15名程度	R6.12.3～R7.4.11	R7.7

【今後の動き】

- ・ 教員の募集

1度の公募で採用予定数に満たない場合、第2回（令和7年5月頃）、第3回と募集を行い、必要な教員体制（専門科目、一般教養科目あわせて54名程度）になるまで採用活動を継続する。

- ・ カリキュラム編成

校長予定者および開校準備教員による検討体制を構築し、令和7年度中に県立高専のポリシー作成とカリキュラム編成を行う。

- ・ 運営体制の構築

開校に向けた学内体制、学内運営委員会、学生支援体制等について検討を開始するとともに、運営体制構築に必要な規程案を作成する。

②広報・周知活動

【これまでの状況】

- ・県立高専専用ホームページの開設
令和6年11月に県立高専の準備状況を一元的に把握できる専用ホームページを開設



- ・リーフレット、PR 動画等の作成



- ・出前授業の実施

令和6年9月から11月にかけて高専開校予定地である野洲市内の小学校5校において小学校6年生を対象に高専教員（開校準備教員）による出前授業を実施

野洲市内小学校への出前授業



実施時期 令和6年9月～11月
対象 野洲市内小学校5校(小学6年生322名)
内容 プラズマボール実演、空中衝突実験、プログラミングロボット操作

約77%の児童が「学校説明を受けて実験をしてみても、高専に興味を持てた」と回答

No.	学校名	開催日	クラス数・人数	授業内容
1	篠原小学校	9月12日	1クラス、26人	プラズマボール実演 プログラミングロボット操作
2	三上小学校	9月13日	1クラス、27人	空中衝突実験 プログラミングロボット操作
3	中主小学校	10月30日	3クラス、87人	プログラミングロボット操作
4	祇王小学校	11月6日	3クラス、76人	プラズマボール実演 プログラミングロボット操作
5	北野小学校	11月21日 11月22日	4クラス、106人	プラズマボール実演 プログラミングロボット操作

・高専周知イベント

県立高専を身近に感じられるよう啓発や体験型イベントを実施



No.	イベント名称	開催日	開催場所	参加者数	イベント内容
1	やすまる広場	6月2日	野洲市立図書館	約130人	段ボールペン立てワークショップ 資料配布
2	サイエンスフェスタ	7月15日	アウトレットモール竜王	約65人	段ボールペン立てワークショップ 資料配布
3	すまいるあくしょんフェスタ	10月12日	県立文化産業交流会館	約80人	木質ボードペン立てワークショップ 資料配布
4	けんせつみらいフェスタ	10月12日	県希望ヶ丘文化公園	約105人	木質ボードペン立てワークショップ 資料配布
5	青少年のための科学の祭典	10月20日	滋賀県立大学	約155人	プログラミングロボット体験 資料配布

・高専フェア in イオンモール草津

県立高専と近隣国立高専4校（舞鶴、福井、鈴鹿、奈良）が連携して、子どもを対象とした高専の体験型イベントを実施

（日時）令和6年11月30日（土）～12月1日（日）

10:00～16:00

（場所）イオンモール草津（3箇所）

（内容・参加者数）

①科学工作体験	272名	
滋賀県立高専：プログラミングロボット	64名	
福井高専：科学体験	57名	
鈴鹿高専：胸骨圧迫測定体験	15名	
舞鶴高専：プログラミング、揺れ実験	80名	
奈良高専：ドッグタグづくり	56名	
②シールラリー	249名	
③オリジナルペン立てづくり	170名	



参加者の声



個別相談もでき、子どもと一緒に高専を知る良い機会になった



高専は楽しそう高専を目指したい



なぜそうなるのか原理をもっと知りたくなった



親族が高専卒で子どもにも高専を目指してほしい今回をきっかけに高専に興味を持ってくれると嬉しい



普段できない科学やものづくりの体験ができて楽しかった

【今後の動き】

・イベント等の周知活動の継続

情報を拡充しつつ、周知活動を今後も継続する。

・出前授業を県内の小学校に展開

市町教育委員会と連携し、今年度野洲市で実施した出前授業を県内の小学校に展開する。

・中学校への広報

中学校へのリーフレット配布、ポスター掲示、教員および中学生とその保護者を対象としたオンデマンド、オンラインによる説明会を実施する。

③企業等との連携・共創

【これまでの状況】

- ・「県立高専共創フォーラム」（令和5年11月設置）参画企業等の継続的募集
「県立高専共創フォーラム」参画者数（令和7年2月25日現在）

区分	企業	団体	高専	行政	大学	個人	計
参画者数	216	16	2	1	4	114	353

- ・メールマガジンによる情報発信

①R6. 3.29 ②R6. 4.26 ③R6. 5. 9 ④R6. 6.20 ⑤R6. 7.17 ⑥R6. 8.26
⑦R6.10.28 ⑧R6.11.29 ⑨R7. 1.20 ⑩R7. 3（予定）

- ・イベント開催による情報共有・開校に向けた機運醸成

第1回 令和6年2月8日（参加者数：約250人（来場＋オンライン））

第2回 令和6年9月11日（参加者数：約180人（来場＋オンライン））

第3回 令和7年2月13日（参加者数：約200人（来場のみ））

- ・参画企業への個別訪問、連携・共創メニューに関するアンケートの実施

訪問数（令和7年2月25日現在）：64社

アンケート結果（回答数（令和7年2月25日現在）：79社）

項目	メニュー	No	比率	数
1. 県立高専と企業等が共に成長を目指すメニュー				
① 技術の社会実装	ア PBL教育支援（課題の提供）	[1]	28%	22
	イ PBL教育支援（メンター/マイスター派遣）	[2]	27%	21
	ウ 学生技術コンテスト主催	[3]	15%	12
	エ 企業コンテストへの学生参加	[4]	14%	11
② 共同研究	ア 委託型共同研究	[5]	13%	10
	イ 協働型共同研究	[6]	30%	24
	ウ 派遣型共同研究	[7]	13%	10
	エ 県立高専内への企業等研究室の設置	[8]	14%	11
③ 広告	ア ネーミングライツ制度	[9]	18%	14
	イ 県立高専内への企業広告	[10]	53%	42
	ウ 県立高専内イベント（県立高専祭等）への協賛	[11]	46%	36
2. 学生の成長を企業等に応援いただくメニュー				
④ 教員・講師等派遣	ア 実務家教員の派遣	[12]	15%	12
	イ 講演会講師等の派遣	[13]	42%	33
	ウ 技術職員の派遣	[14]	15%	12
	エ 外国籍従業員による実践的な英会話演習	[15]	4%	3
⑤ 企業講座等	ア 企業講座（寄附講座）等	[16]	29%	23
	イ 企業等所有設備・機器の教育利用	[17]	25%	20
	ウ 学生起業支援	[18]	5%	4
	エ 企業・業界団体等研修の活用	[19]	16%	13
⑥ 学生支援	ア 企業従業員寮の利用	[20]	3%	2
	イ 企業スポーツイベントへの参加、施設利用などスポーツ活動の支援	[21]	6%	5
⑦ インターンシップ	ア 長期インターンシップ（2か月程度）	[22]	32%	25
	イ インターンシップ（5日または10日程度）	[23]	82%	65
	ウ 1日就労体験	[24]	76%	60
	エ 海外インターンシップ	[25]	5%	4
⑧ 学位取得支援	ア（卒業後）働きながらの学位取得支援	[26]	14%	11

項目	メニュー	No	比率	数
2. 学生の成長を企業等に応援いただくメニュー				
⑨ 寄附等	ア 学生用PC購入費支援	[27]	5%	4
	イ 学生活動費支援	[28]	10%	8
	ウ 学生用作業着購入費支援	[29]	8%	6
	エ 教育研究機器等寄附	[30]	11%	9
	オ 交流用工作機械等寄附	[31]	8%	6
	カ 図書等の寄附	[32]	9%	7
	キ 教科書購入支援	[33]	3%	2
	ク 学生生活を支える用品購入支援	[34]	4%	3
	ケ 給付型企業奨学金	[35]	13%	10
	コ（卒業後）奨学金返還支援（代理返還）	[36]	10%	8
	サ 返済型企業奨学金	[37]	6%	5
3. 県立高専のリソースを企業等が活用するメニュー				
⑩ 企業への技術支援	ア 企業課題への技術相談対応／技術支援	[38]	22%	17
	イ 県立高専所有設備・機器等の企業等による利用	[39]	27%	21
	ウ 企業等交流会	[40]	56%	44
	エ 企業等従業員の資格取得支援	[41]	24%	19
	オ 企業等従業員のリテラシー、デジタル教育支援	[42]	23%	18
	カ 県立高専教育コンテンツのデジタル配信	[43]	16%	13
	キ 企業等への出前授業	[44]	23%	18
	ク 企業等による県立高専参観	[45]	43%	34
	ケ 県立高専内の知的財産活用	[46]	11%	9
	ア 県立高専内業界・企業等説明会	[47]	84%	66
	イ 企業等PRブック作成	[48]	56%	44
⑪ リクルート	ウ（卒業後）卒業生のリターン就職に関する連携	[49]	70%	55
	エ 県立高専生の就職処遇向上検討	[50]	33%	26
	オ 学生アルバイト	[51]	11%	9

【今後の動き】

- ・参画企業への個別訪問の継続的実施
- ・開校準備教員を交えた体制による企業との連携・共創メニューの具体化・構築
- ・企業以外の参画者へのアンケートの実施